

各位

ケイティケイ株式会社

(コード 3035 東証 JASDAQ スタダート)

ケイティケイ 2019年8月期の連結業績予想を上方修正

営業利益・経常利益で上場来最高益を見込む

～ 期末配当も9円から2円増の11円へ ～

リサイクルトナーの製造と直販を主とするケイティケイ株式会社（東証 JASDAQ、本社：愛知県名古屋市東区、代表取締役会長兼社長 青山英生）は、事業計画である『ktk イノベーションプラン』を最速実行し、売上高は上昇基調にありましたが、連結子会社（株式会社青雲クラウン）の主要顧客の売上減少により、前期を下回る見込みです。営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益におきましては、原材料費の見直しによる製造コストの削減の他、調達コストの削減、経費の削減など、様々な施策を強力に推進したことによって前期実績を上回り、営業利益・経常利益は上場来最高益となる見通しです。

また、本日発表の業績予想と今後の経営環境を勘案し、期末配当予想を11円に修正いたします。

◇過去5年間の連結業績推移

(単位：百万円)

	2015年8月期	2016年8月期	2017年8月期	2018年8月期	2019年8月期 (予想)
売上高	17,521	17,185	16,860	16,989	16,699
売上総利益	3,401	3,455	3,395	3,469	3,428
営業利益	△40	191	211	249	285
経常利益	△25	214	252	279	314
親会社株主に帰属する 当期純利益	△78	97	219	174	216

以上